

皮膚 1/1 であった。病期は I 期 0/2, II 期 0/2, IIIa 期 4/12, IIIb 期 4/9, IV 期 9/14 であった。T₁, N₁ の示現度が悪く, N₂ で対側肺門リンパ節への偽陽性が高率にみられた。経過観察例においては再発診断に有用であった。SPECT 施行例では, 位置関係が明確に描出されることから, TNM すべてにおいて診断率の向上を認めた。7 例に正常肝への ⁶⁷Ga 集積低下がみられた。うち 6 例は ⁶⁷Ga 注入当日から 4 日前に化学療法も施行されており, CDDP+VP-16 3 例, CPA+ADM+VP-16 2 例, CPA+VP-16 1 例であった。1 例は未治療例であった。肝への集積低下を認めなかった 33 例のうち 22 例は未治療, 5 例は放射線療法, 4 例は注入当日から約 1 か月前に化学療法が施行されており, CPA+ADM+VCR 2 例, CPA+ADM+VDS 2 例であった。Ga 注入直後に CPA+ADM+VP-16 で施行した例では正常肝の Ga 集積低下は認めなかった。肝への集積低下には, CDDP, VP-16 の関与が推定された。

50. メラノーマの In-111 標識 ZME 018 抗体シンチグラフィ: Case report

渡辺 祐司	遠藤 啓吾	小泉 満
河村 泰孝	佐賀 恒夫	中井 敏晴
小西 淳二		(京都大・放核)
宮地 良樹	今村 貞夫	(同・皮膚)

インディウム-111 標識抗メラノーマ・マウスモノクローナル抗体 ZME 018 を用いて, 悪性黒色腫患者 6 例に免疫シンチグラフィを行った。

ZME 018 抗体のサブクラスはマウス IgG_{2a} で認識する抗原は GP240 (分子量 240 kd の糖蛋白) である。この抗体のインディウム-111 標識は, DTPA 結合 ZME 018 抗体と塩化インディウム (2 mCi) を混合するのみで 90% 以上の標識率が得られた。患者 6 例はすべて検査前に臨床的あるいは組織学的に悪性黒色腫と診断確定している症例である。

検査方法はインディウム-111 標識抗体 1 mg と非標識抗体 19 mg を点滴静注し, 1, 3, 6 日後の計 3 回撮像を行った。

インディウム-111 標識 ZME 018 抗体投与 1 日後のシンチグラムでは血中プール像が明瞭で肝・脾・骨髄にも取り込まれ, 3, 6 日後でも肝・脾・骨髄に強い取り込みが持続した。患者 6 例中 5 例 (83%) に腫瘍が陽性描

画され, 病巣数 26 か所中 19 か所 (73%) が検出された。腫瘍は抗体投与 1 日後から強い取り込みのみられたものもあったが, 時間の経過とともにその陽性像は明瞭となった。なお, ZME 018 抗体投与による副作用は全例認められなかった。

ZME 018 を用いたイムノシンチグラフィは特異性にすぐれ, メラノーマの有用な検査法と考えられた。

51. 心不全で死亡した長期血液透析患者の骨シンチグラフィ

小泉 義子	岡村 光英	八幡 訓史
越智 宏暢	池田 穂積	浜田 国雄
小野山靖人		(大阪市大・放)
柳 志郎	板金 広	秋岡 要
武田 忠直		(同・一内)

症例は 52 歳女性で, 昭和 57 年 11 月より血液透析を受け, 昭和 58 年より二次性副甲状腺機能亢進症と診断されていた。昭和 62 年夏頃より前胸部不快感と不整脈が頻回に出現し, 同年 11 月の骨シンチにて, 心・肺・腎に著明な異常集積をみとめ, 異所性石灰化と考えられた。精査のため入院し, その際の諸検査にて心筋梗塞および僧帽弁閉鎖不全症が疑われた。血液検査では, 高 Ca 血症, 高 P 血症, PTH 高値などをみとめた。副甲状腺シンチでは, 肺野にタリウムのびまん性集積をみとめ, 心不全による肺うっ血を示唆するものと考えられた。本例は入院翌日急死した。直接死因としては, 電解質不均衡による不整脈や, 冠動脈石灰化による心筋梗塞が考えられるが, 剖検にて, 心筋に著明なびまん性石灰化がみられ基礎に著明な左室機能低下が存在していたと思われる。そのほか, 肺・僧帽弁・腎に石灰化をみとめた。

長期透析患者に合併する腎性骨異常症 (ROD) では, 軟部組織や臓器に metastatic calcification を伴うことも多い。Metastatic calcification は, 肺では呼吸機能低下を, 心では僧帽弁閉鎖不全, 血栓症, 不整脈, 心内膜炎など重篤な合併症をひきおこすと報告されている。本例のように死亡する例もあるので, 早期診断が重要である。単純 X 線写真や X-CT によって, 異所性石灰化を検出できることは非常にまれであり, 骨シンチは, 異所性石灰化の早期診断に欠かすことのできない有用な検査法と思われる。